

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(夜間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床医学総論Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	酒井 寛	実務経験と その関連資格	医学博士。国立循環器病センター病院、国立病院機構(大阪、京都、舞鶴など)に勤務。この間、病院付属の看護助産学校、リハビリテーション学院の講師、大阪大学医学部保健学科臨床地教授、国際協力事業団専門家 など。			
《授業科目における学習内容》						
臨床工学技士が現場で遭遇する疾患について病態、症状、所見、治療など基本的な内容について理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
中間試験と期末試験にて記述試験をおこなう。その平均点評価:70% 出席評価:20%。レポート提出状況など平常評価:10%。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:臨床工学講座 臨床医学総論 参考書:目でみるからだのメカニズム、臨床工学技士標準テキスト、検査データ活用マニュアル、コメディカルのための内科学						
《授業外における学習方法》						
次回の授業内容を把握するため、事前に教科書の内容を確認すること。 配布する演習問題を次回講義までに解いておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床医学総論は範囲が広く、国家試験の出題数も多いため、ポイントを抑えることが大切である。解剖学、生理学、病理学、医用治療機器学との絡みも多く、疾患と関連させて理解すると記憶に残る学習が可能である。各疾患ごとに演習を実施し、理解力を確認する。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	腎臓の解剖と生理を理解する。慢性腎臓病、ネフローゼ症候群の病態を理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。	
		各コマにおける 授業予定	腎臓の機能、主要症状と検査、慢性腎臓病、ネフローゼ症候群、慢性糸球体腎炎(IgA腎症、膜性腎症、巣状糸球体腎炎、膜性増殖性糸球体腎炎、微小変換型)			
第2回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	急性腎不全の分類、その他の腎疾患について理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。	
		各コマにおける 授業予定	急性腎不全、腎前性/腎性/腎後性腎不全、急性尿細管壊死、水腎症、尿毒症、溶血性尿毒症症候群			
第3回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	外科手術が必要な腎疾患について、手術方法、合併症と対策を理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。	
		各コマにおける 授業予定	腎細胞癌、腎結石、腎結核、動静脈瘻造設術、CAPDカテーテル植え込み術、手根管症候群、腎疾患と透析、腎癌、腎移植			
第4回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	尿路感染症、腎硬化症、腎・腎盂・尿管の腫瘍、尿路結石症などの泌尿器病学について理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。	
		各コマにおける 授業予定	腎盂腎炎、良性/悪性腎硬化症、Wilms腫瘍、腎盂・尿管癌、膀胱腫瘍、前立腺癌、尿路結石症			
第5回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	食道疾患、胃・十二指腸疾患について腫瘍性疾患、炎症性疾患などを理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。	
		各コマにおける 授業予定	食道癌、逆流性食道炎、食道裂孔ヘルニア、マロリー・ワイス症候群、食道静脈瘤、胃癌、急性胃粘膜病変、胃・十二指腸潰瘍、慢性胃炎			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	小腸疾患および大腸疾患について腫瘍性疾患、炎症性疾患などを理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	偽膜性腸炎、イレウス、大腸ポリープ、大腸癌、潰瘍性大腸炎、クローン病、虫垂炎、大腸憩室炎、虚血性大腸炎、過敏性腸症候群		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	急性肝疾患について理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	急性肝炎(ウイルス性肝炎、アルコール性肝炎、薬剤性肝炎)、劇症肝炎		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	慢性肝疾患について理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	慢性肝炎、肝硬変、肝癌		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	胆嚢疾患、膵疾患の腫瘍性疾患、炎症性疾患などを理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	胆嚢・胆管結石、急性膵炎、慢性膵炎、胆嚢癌、胆管癌、膵癌		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	造血器の構造と機能を理解し、血液疾患の主要徴候を理解する。貧血の種類と発生機序を理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、悪性貧血、再生不良性貧血、赤芽球癆		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	溶血性貧血の種類と発生機序、その他の貧血、二次性貧血、多血症について理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	鎌状赤血球貧血、妊娠貧血、サラセミア、遺伝性球状赤血球症、発作性夜間血色素尿症、発作性寒冷血色素尿症、異常ヘモグロビン症、多血症		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	白血球の疾患および白血球の増減疾患について理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	急性/慢性白血病、骨髄性/リンパ性白血病、成人T細胞白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、原発性マクログロブリン血症		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	白血球の疾患および白血球の増減疾患、造血幹細胞移植について理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	骨髄線維症、骨髄異形成症候群、白血球減少症、白血球増多症、造血幹細胞移植(骨髄/臍帯血/末梢血幹細胞移植)		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	止血機序の要因を理解し、血液凝固異常症の主要な疾患について理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	血管異常、特発性血小板減少性紫斑病、血栓性血小板減少性紫斑病、血友病、von Willebrand病、DIC		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	本講義内容について、要点を理解した上で説明ができるようになる。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	総合演習を行ない、講義内容の理解度を測る。		